

輝くねむろ

We Love Nemuro!

「色々な方に支えられて、ここまで来ることができました」と話す、笑顔がとても素敵なお二人は、平成25年1月から根室に移り住み、12月1日に市内唯一のチーズ工房をオープンした菊地亮太さん、芙美子さん夫妻です。



タイミングが大事

と中標津町のチーズの味に魅了。東京に戻り、移住する環境が全て揃っていることに気づき、8月に結婚し勤めていた会社をそれぞれ退職しました。二人は、中標津町の工房で約1年半の修行後、手作りを基本とした工房を完成させました。工房名の「チカプ」は、アイヌ語で「鳥」を意味し、「渡り鳥のように多くの人が来てくれたら」と話します。

今後は、根室の土地でしか買えないチーズを作り、この地をアピールしたいと意気込む二人。これからの移住者の見本として根室の魅力を発信してくれることでしょう。



オープン当日を迎え、準備を進める菊地さん夫婦

profile

菊地 亮太さん・芙美子さん

根室市川口にチーズ工房「チカプ」をオープン

亮太さん：1981年生まれ。神奈川県出身。大学を卒業後、携帯電話のソフトウェアを開発するプログラマーとして勤務。趣味は、ダーツ。

芙美子さん：1984年生まれ。長崎県出身。専門学校卒業後、ウェブデザイナーとして勤務。趣味は、ダーツとスノーボード。



「心温まる幸せな読書のひとときを…」

今回は、心温まる読書のひとときに、読んでいただきたい一冊をご紹介します。

タイトルは、『かあちゃん』（重松清著／講談社）です。

主人公ヒロシの父は、同乗していた同僚を巻き添えに、交通事故で亡くなってしまいました。優しくかった母は、父の罪を一身に背負い、自ら笑うことも、幸せになることも禁じ、亡くなった人の家族に償い続けられました。

あの日から26年。ヒロシは父と同じ33歳を迎えますが、そんな時、母と遺族が交わした、ある「約束」の存在を知ることになります。

母が息子に背負わせてはならないと、懸命に守り続けてきた「約束」とは。

許すこと、許されることの難しさや、人が生きていくということについて、深く考えさせられる一冊です。また、母が子を想うはかり知れない愛情の深さに、涙せずに読むことはできません。

本との出会いは、不思議なもので、人との出会いと同じように一種の「縁」であり、その時に必要な知恵や感性を与えてくれる貴重な存在です。

2014年を迎えるにあたり、ご家庭でゆつくりと心温まる読書体験をしてみませんか。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

図書館

からの

おくりもの

司書 神内 舞衣子
図書館 TEL (23) 5974番

